



コメの検査を体験する学生

## 本県産農産物の 流通現状を講義

東京農大で米穀肥料協組

県米穀肥料協同組合は、  
東京都の東京農大で、学生

を対象にした講義「米概論」  
を行った。風評払拭ふうせいはらひに向  
けて、全量全袋検査など本  
県の農産物流通の現状を説  
明した。

農業について専門的に学  
ぶ学生に本県の正しい情報

を伝えることで、風評払拭  
や県産米の消費拡大につな  
げるのが狙い。パナソニッ  
クが協力した。

同組合青年部のメンバ  
ーが教壇に立ち、東日本大震  
災後の本県の農産物の検査  
体制や、流通の仕組みを説  
明した。

受講したのは同大国際食  
料情報学部国際食農科学科  
の1年生115人で、農産  
物の検査や県産米の食味試  
験も体験した。

同大の上岡美保教授は  
「福島県の努力に触れ、感  
心する学生が多かった。引  
き続き、こうした機会をつ  
くっていききたい」と話して  
いた。